

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評価日 2016年 7 月 15 日

団体名	GOENフェスティバル実行委員会		
事業名	GOENフェスティバル2016		
対象経費	260,148円	支援金額	130,000円

事業の目的・内容	目的 佐久地域を中心に活動する市民活動団体の活動と、その背景にある課題を広く周知するとともに、縁で繋ぐことを目的とする。 児童養護施設出身者が沢山の人の縁やかかわりを持つことによって、社会に順応していけるように応援する。
	内容 ステージでのライブパフォーマンス、トークショー、ダンスパフォーマンス 市民活動団体のブース出展 バザー、フリーマーケット、ワークショップ、飲食ブースの出店を企画、実行する。

事業の活動実績	日時; 2016年5月29日(日) 10:00~16:00 場所; ミレニアムパーク(佐久平駅隣) ステージパフォーマンス、市民団体の紹介、バザー、フリーマーケット、ワークショップ、飲食ブースの設置 (ステージパフォーマンス) 1 魂のROCK ART 書道AKIRA 即興コラボ XENO Takashi Yasuda 2 ダンスクラブ KDC 3 COSMO STARS JAZZ オーケストラ 4 D-CORE (ご当地アイドルグループ) 5 浅間中学校 吹奏楽部 6 ISAK (インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢) コーラス 7 Art Brut (障がい者アート) 8 KAZAN ALL STARS (2013年長野おやじバンドグランプリ) 9 小宮山洋子(元厚生労働大臣)・柳田清二(佐久市長)・高根秀樹(軽井沢学園職員)・湯沢美恵(軽井沢学園を応援する会)によるトークショー 10 Rolo LINK ダンスクラブ 11 XENO Takashi Yasuda&Friends (バンドパフォーマンス) 計11団体によるパフォーマンス。(幼稚園児から小学生のダンス、中学生の吹奏楽、高校生のコーラス、ご当地アイドル、市民ジャズバンド、おやじバンド、障がい者アート、元厚生労働大臣と佐久市長によるトークショーなど、幅広い年代と分野でパフォーマンス)
---------	--



事業の成果・効果	今年で2回目となりましたが、昨年より大幅に参加人数が増えました。参加者はステージ実行委員28名、パフォーマンス240名、出店ブース180名、延べ来場人数は、4000人でした。 昨年以上の賑わいとなり、あらゆる年齢層が集まり交流できた。  段ボールアートを通して、障がい者アートを認知してもらうことが出来た。  トークショーでは小宮山洋子(元厚生労働大臣)・柳田清二(佐久市長)を中心に、子どもの未来についての対談があり、夢や希望を持ってもらうことが出来た。  来年も参加したい、来年はぜひスタッフとして参加したい等の声が多く、嬉しいです。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果があげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	参加者からは、また来年も是非参加したいという意見が多いので、さらに規模が拡大しそうです。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	毎年開催予定・・・第一回実行委員会を早めに開く予定。 更にご縁が広がる様に、SNSで随時発信していく。
---------	--